

鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（令和元年(2019年度)第1四半期）

1 利用の承認等に関する業務

(1) 来館者数の動向

4月から6月までの来館者数は41,752人で、昨年(2018年度)第1四半期より10,052人、約19.4%の減となった。

(2) 分析

4月は月末からの初の大型連休を前に一日の来館者数が2桁台に留まる日が多く見受けられた。5月は連休前半に雨天が続いたことに加え、オーバーツーリズム対策等がメディアに取り上げられたことで客足が伸びなかった。長谷地域全体としてこのような状況である中、特別展の企画を工夫することで、来館者数の増加を図ることが出来た。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

(1) 施設・設備

ア 設備機器の保守点検について計画どおり行われた。

イ 電動書架リード線不良交換、特別展示室防火戸ヒンジ調整機交換修繕が行われた。

ウ 市修繕として、安全対策のため万年塀の修繕を行った。

(2) 文学館資料

ア 収蔵庫内の温湿度管理が適切に行われている。

イ 文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(5件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

(1) 展覧会

事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。

ア 収蔵品展「作家と歩く鎌倉その3 北鎌倉・大船方面」

イ 特別展「三島由紀夫『豊穡の海』のススメ」

ウ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」

エ ミニ特集「関東大震災をこえて～与謝野晶子」

オ ミニ特集「令和展示」

カ ミニ特集「雑誌『人間』創刊100年」

(2) 普及事業

ア 文学講座、文学散歩、おはなし会、ギャラリートークなど事業計画どおり開催した。

イ 角野栄子氏の朗読会を開催した。国際アンデルセン賞を受賞されたこともあり、前年度から継続して参加者が増加し好評を得た。

ウ バラまつりに関連して、「バラをモチーフにした鎌倉彫制作」や「バラの解説」を行い好評を得た。

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

ア バラまつり期間中に、ローズガーデンコンサート、言葉と音楽のコンサート等を開催し、

いずれも盛況であった。

イ 特別展の企画に合わせ、三島由紀夫文学館館長による解説や作品を舞台化するにあたり、脚本を手がけた脚本家の講演を行い、展示目的の来館者以外にも興味関心を抱かせる効果があった。また、前年度に引き続き、新江ノ島水族館とのセット前売券をコンビニ等で販売するなど、普段文学館になじみのない層にアピールしたところ、一定の効果があった。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

- (1) 収蔵品の適切な保存、整理ができている。市職員の立ち会いのもと所在確認を行った。
- (2) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

- (1) 文学館資料の調査及び研究
事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。
- (2) 事務処理
ア 例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。
(4月分:5月14日、5月分:6月14日、6月分:7月11日)
イ 展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
ウ 市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。
エ 市モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に周知を行った。
- (3) その他
ア バラまつりに向け、ポスター掲示やリーフレット配布など効果的な広報活動を展開した。
イ SNSを活用し、バラの開花情報などタイムリーな情報の発信を行った。
ウ メディア対応を積極的に行った。
エ 学校や各種団体の視察等に対応した。
オ 全国文学館協議会に参加した。(1名)

6 全体評価

- (1) 改元を記念し、元号の出典と鎌倉ゆかりをいち早く繋ぎとめミニ特集を組み、観覧者の興味に応えていた。特別展については、愛好家の多い三島由紀夫を取り上げ展示目的の観覧者を多く集めた。また、展示目的でない来館者についても展示をきっかけに興味関心を抱く機会とすることが出来た。今後も文学に惹きつけられるような魅力ある展示を企画されたい。
- (2) 第1四半期の観覧者数(41,752人)は、前指定管理期間の平均値(54,144人)と比較すると大きく割り込んだ。平成30年度(51,804人)とも比較して、要因について十分に研究し、観覧者数の確保につなげられたい。
- (3) 特別展観覧料の改定により、期間中の観覧料収入は17,322,100円となり、平成30年度(17,674,540円)と比較して約2.0%の減にとどまっている。観覧料改定による来館者数の

減少の影響についても調査し、観覧者数の確保に努められたい。

- (4) SNSを活用し、バラの開花状況を随時情報発信することで来館者のニーズに応えることができていた。効果的な広報、情報発信について今後も続けられたい。
- (5) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 令和元年度（2019年度）第1四半期 判定評価

評価項目	配点	第1四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	×	5
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%